

卒論・修論・ゼミ報告書

平成 30 年 6 月 12 日

指導教員認印

学科・専攻	電子・情報工学	学籍番号	1515028	氏名	杉山 桃香
題目	問題の模索				

報告日までの取り組み

PDCA サイクル	設定目標 (P)	A-現場コミュニケーションアプリ Kizuku の機能をまとめる B-Kizuku から得られる情報 or あつたら良いと思う情報を考える C-それらの変数をもとに定式化・解法の提案
	取組内容 (D)	A-Kizuku の機能について簡単にまとめた (参考: 企業さんからいただいた資料) B-Kizuku から得られる情報で、利用できそうな変数 or あつたら良い情報 (機能) を考えた. C-考えた変数から目的関数と制約式をいくつか考えた.
	課題整理 (C)	A 大きく分けて機能は「トーク」「図書共有」「報告書」「工程表」の 4 つに分けられる。本研究ではこの機能の「トーク」と「工程表」の部分に着目して、ここから得られる情報を変数として取り入れたい。 B 【引き継げる変数】 (アプリからわかること) 1. 実労働時間 2. 各作業の所要時間 → 1 時間ごとの一人当たりの作業量 (面積?) が求まる 3. 空き時間 (休憩時間以外) = 余裕時間 (アプリ外からわかること) 1. 費用 (材料費・大工さんごとの日給) 2. 工期 C 途中まで目的関数・制約式を考えたが、そもそも「決定変数」が何か定まっていない。
	改善方策 (A)	B-完了 【あつたらいい変数・機能】 (アプリ内) 1. 休憩開始・終了スタンプの実装 (既にあるかもいれない) → 休憩時間がわかる 2. その日の天気・温度 3. その日の体調・気分 → 2 と 3 は作業時間に影響を与える要素 (ファジィ・ランダム) として用いることが出来る。 (アプリ外) 1. 得意/好きな作業・苦手/嫌いな作業 (本人が感じていること)-主観的 2. 作業ごとの熟練度 (今までの 1 時間あたりの作業量から導出) C-未完 得られる情報から、「多目的な目的関数」「決定変数」「制約式」「0・1 変数」を考え, GA での解法が可能か or どのように解くか検討 (イメージ) する。

報告日

コメント (出席者)	
備忘録 (自分)	